CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 ▌使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要

建物名称	［仮称］相模原市緑区西橋本二丁目計画　新築工事	階数	地上14F
建設地	相模原市緑区西橋本二丁目606番2 外	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	2,000　人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760　時間/年（想定値）
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年3月　　予定	評価の実施日	2025年12月1日
敷地面積	20,124 ㎡	作成者	株式会社長谷工ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ
建築面積	5,927 ㎡	確認日	2025年12月5日
延床面積	42,566 ㎡	確認者	株式会社長谷工ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ

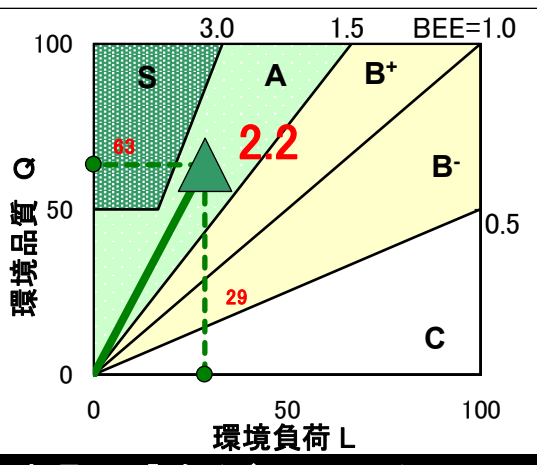
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE =2.2

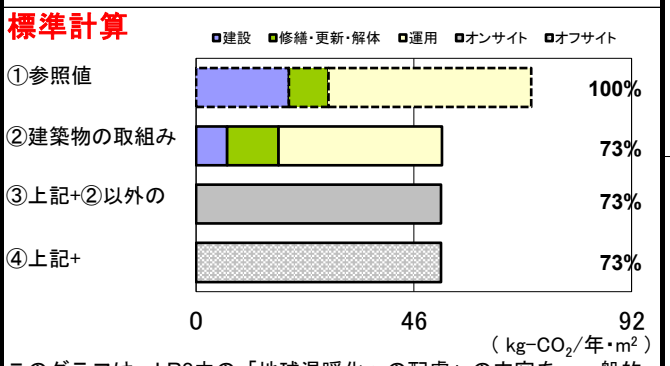
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

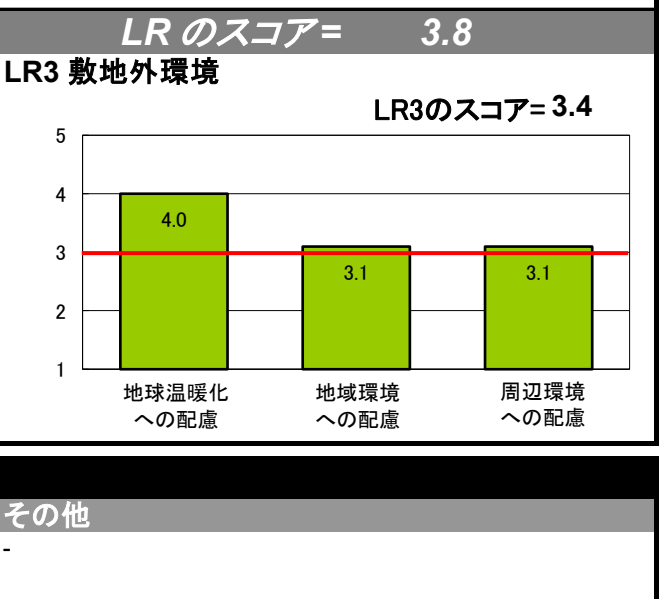
30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価（レーダーチャート）

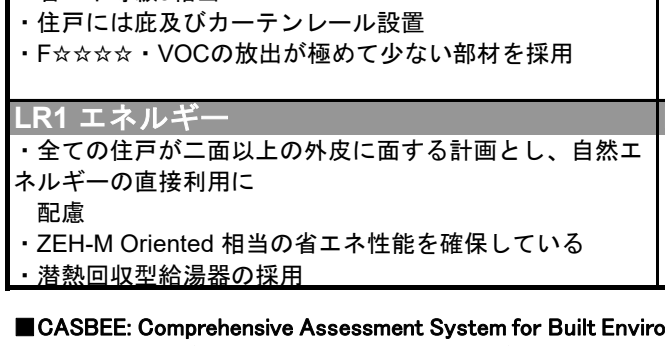


2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.5

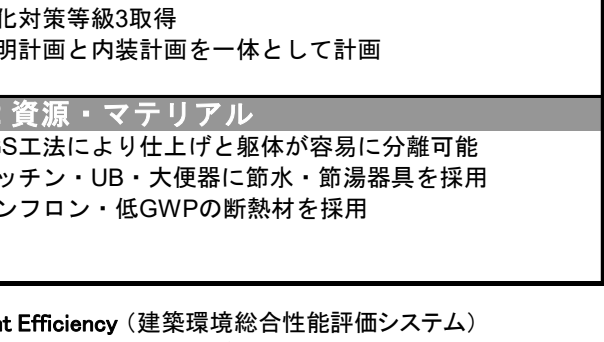
Q1 室内環境

Q1のスコア= 4.1



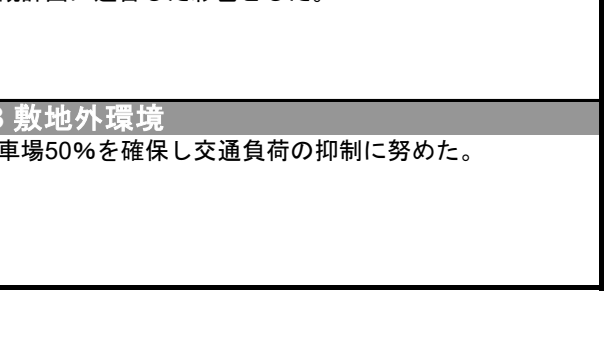
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2



Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア= 3.0



LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項

総合

外壁はアースカラーを採用し落ち着きのあるファザードとした。
歩道上空地・広場の周囲を中心に良好な自然環境を創出した。
高断熱建材を用いた建物の断熱化を図っている。

その他

-

Q1 室内環境

・省エネ等級5相当
・住戸には庇及びカーテンレール設置
・F☆☆☆☆・VOCの放出が極めて少ない部材を採用

Q2 サービス性能

・高度情報通信設備に10Gbitブロードバンドを採用
・劣化対策等級3取得
・照明計画と内装計画を一体として計画

Q3 室外環境（敷地内）

・景観計画に適合した彩色とした。

LR1 エネルギー

・全ての住戸が二面以上の外皮に面する計画とし、自然エネルギーの直接利用に
　配慮
・ZEH-M Oriented 相当の省エネ性能を確保している
・潜熱回収型給湯器の採用

LR2 資源・マテリアル

・LGS工法により仕上げと躯体が容易に分離可能
・キッチン・UB・大便器に節水・節湯器具を採用
・ノンフロン・低GWPの断熱材を採用

LR3 敷地外環境

・駐車場50%を確保し交通負荷の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される